

「はらわた」いけにえに続く

悪魔シリーズ第3弾

# 悪魔の墓場

LET SLEEPING CORPSES LIE

臓物をひっぱり出して喰いたい！かさぶたをはがして生血を吸いたい！  
重い墓石をはねのけて、冷たい土の中から一斉に立上った死人たち！

### 〈カラー作品〉

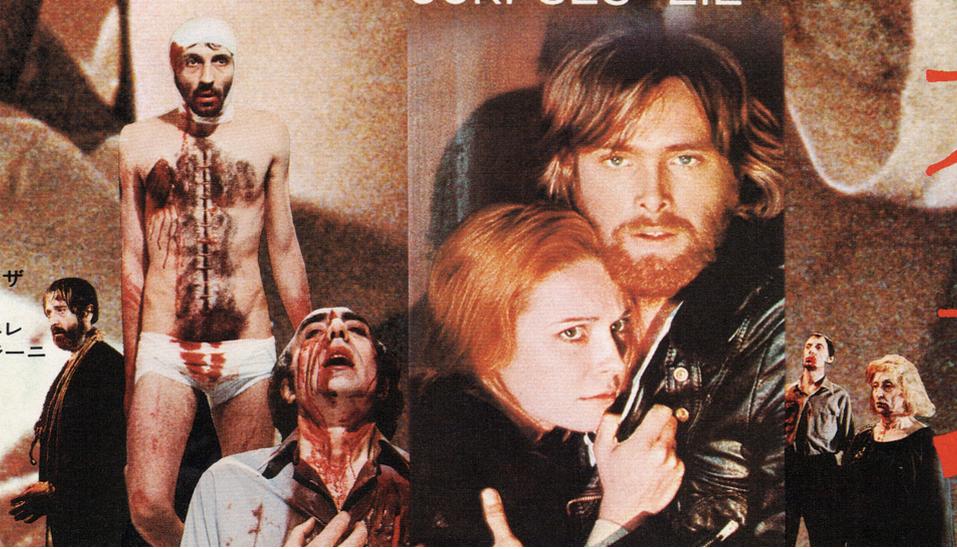
レイモンド・ラブロック  
アーサー・ケネディ  
クリスティーネ・ガルボ  
リタ・ハワード

監督 ジョージ・グロウ  
脚本 サンドラ・コンチネンザ  
マルチェロ・コスタ  
撮影 フランシスコ・センペレ  
音楽 ジュリアーノ・ソルジニ

日本ヘラルド映画



サントラ盤／東宝TAMレコード





LET SLEEPING  
CORPSES LIE

# 悪魔の墓場

イタリア映画 / カラー作品 / 日本ヘラルド映画 

## ■ 解説

「悪魔のはらわた」、「悪魔のいけにえ」と公開されるたびに大センセーションを巻き起した「悪魔」シリーズ第3弾、決定版といつてもいいほどのもの凄さである。

今回の「悪魔の墓場」は、環境破壊や公害を生み出した人間の文明の頹廃が、恐るべきモンスターを生み出し、しかも彼らモンスターによって人間が復讐を受けるといふ展開。その復讐のされ方のすごさが、前二作に勝るとも劣らない描写で、最大の見どころといえるだろう。

舞台はイギリス。超音波によって害虫を駆除するというマシンが発明された。性能は抜群である。試験もみごと成功。これからの農業に大いなる貢献をすると思われた。ところが一方でそのマシンは思わぬ副作用を起していたのである。もと／＼その原理は害虫そのものに好戦欲を喚起せしめてとも／＼いさせるといふことになったのだから、発見者はそれが死体にまで作用するとは夢にも思っていなかったのだ。

ところが、なんと死体を生き返らすという作用をこのマシンは持つてしまった。死体はぞく／＼と生き返り、しかも彼らはその「生」を全うするために生者のはらわたを喰わねばならず、そのために生きた人間を襲いはじめた。

大恐慌が起る。しかし常人の想像も及ばない現象のために誰もそれを信じようとしな。偶然、そうした事件に巻き込まれた一人の青年と彼の恋人。魔手はついに恋人まで伸びる。果して二人は救われるか！

サスペンスタッチもたつぷりと、ラストの思わぬドンデン返しまで息もつかせぬ描写の連続。恐怖、スリル、サスペンス、「悪魔」シリーズ最新作として娯楽性十分の話題作である。

主演は久びさのレイモンド・ラブロック。ヒゲを生やしてぐっと成長した、青年っぽいところを見せる。監督はジョージ・グロウ。

(イタリア映画 / カラー / ビスタサイズ / 1時間34分 / 日本ヘラルド映画配給)



## ■ 物語

ジョージ(レイモンド・ラブロック)はロンドンで骨董店を営む若ものである。

彼は月曜から金曜まで店を開くと週末は郊外の山や湖で過ごすのが常だった。

ある週末、今週末また彼はオートバイで近くの湖へ出かけるつもりだった。途中、ガソリンスタンドへ寄った時、エドナ(クリスチーネ・ガルボ)という娘の運転していた車がバックしてジョージのオートバイを壊してしまった。そのため彼はエドナの車に同乗して目的地へ向うことになったが、これがきっかけになって彼はふしぎな事件に巻き込まれていくことになる。

エドナの姉のキャセイは結婚していたが、彼女は麻薬中毒となっていていまや夫婦関係は破綻しかかっている。エドナは彼女に会いに行くところだったのだ。

途中、道に迷ったりして姉の家の近くまで行ったのもう夜もつぷりと暮れていた頃だが、その夜キャセイの夫が何ものかによって殺害された。信じられない力によって骨をバラバラに折られて殺されたのであった。

マコーミック警部(アーサー・ケネディ)はキャセイに疑いをもった。なぜなら動機があるし、麻薬患者は時にバカ力を発揮することがあるから。

しかしエドナにもキャセイにも犯人はわかっていた。それは昼間、別々の場所で二人を襲ったあの「幽鬼の男」に違いないのだった。動機は不明だが、あの男が血を求めて、たまたまキャセイの夫に手をかけたに過ぎない。

ジョージはこの事件に巻き込まれた二人をふびんに思い、週末を友だちと過ごす約束をすてて二人のために力をつくすことにしたが、実はマコーミック警部の疑いはジョージにも向けられていたのである。

この段階では誰もまだ真相を掴んでいなかったのだが、実はこの殺人の背景にはおそろべき事実が潜んでいた。

それはこういうことだ。時を同じうして近くの丘陵地帯で農業省の技術者によってある実験が行なわれていた。それは超音波によって畑の害虫を駆除しようという実験だったが結果は大成功である。

しかし意外なことにこのマシンは害虫を駆除するにとどまらず、墓地の死人を甦えらせることになってしまったのだった。死人がどん／＼と生き返る。しかも彼らは、その「生」を全うするために、今度は生きた人間の内臓や血を取り入れなければならぬ。しかも、その魔手にかかった人間もまた、生者の血を必要とするのだ。

新「吸血鬼」の誕生だ。

その事実を知ったのはジョージただ一人だった。しかし彼の主張をだれ一人認めないばかりか、マコーミック警部は彼こそ大量殺人の犯人だとしてねらう始末。

やがて大量の死者が／＼と生き返り、血塗られた惨劇がくり広げられていった。そしておそろべき結末がやって来る！

● 近日ロードショー

新宿東急 (200) 1981